

第12回国際土木委員会 議事概要

1. 開催日時 : 2022年12月19日(月) 13:15~14:05
2. 場所 : Web会議形式
3. 出席者 : 別紙参照

4. 議事概要

(1) 委員長挨拶

(2) バーチャルサミットの報告について

10月18日から10月21日まで開催されたバーチャルサミットについて、下記の報告があった。

- ① 参加者について
 - ・全体で769名の参加があり、日本からの参加者は74名(うちWeb参加64名)であり、国別で4番目に多く、全体の10%程度であった。
- ② オープニングプレナリーについて
 - ・炭素削減を目指し、電力システムのOpenBIM化で効率化を図るルームについての言及があった。
 - ・Open BIMとOpen GISを活用し、インフラデータの機械可読を進めることでデジタルワークフローの高度化に向けた検討を進める。
- ③ インフラルーム(IFC4.3)の状況
 - ・ISO16739の成立を当面の目標としており、ISOでの活動が活発化している。
 - ・ビルディングルームとレールウェイルームとのジョイントセッションにてIFC4.3の活用方法や共用部分の討議があった。
- ④ 次のサミット
 - ・開催地は、ローマで2023年の3月27日から30日を予定。
- ⑤ IFC検定について
 - ・IFCに関する国内の状況として、BIM/CIM活用ガイドライン(案)及びBIM/CIMモデル等電子納品要領(案)及び同解説等にて、IFCが規定されていることを踏まえ、土木のIFC検定についてIFC2x3をベースに一部IFC4.0も考慮して進められている。

(3) IFCトンネルの検討状況について

IFCトンネルの検討に参加されている応用地質株式会社 島裕雅氏より下記の報告があった。

- ① IFC4.4について
 - ・トンネルについては、2023年にIFC4.4としてCandidate(候補版)を目指し、現在IFC4.4のドラフト版を作成している。
- ② 地盤工学(地質・岩盤)について
 - ・今までIFCでもOGCでも十分にカバーされていない地盤工学についても検討を進めており、不確実性を表現するためにVoxelモデルの検討を進めている。

(4) その他

infra BIM Open2023が1月30日から2月1日にフィンランドで開催される。矢吹委員長が基調講演をされる予定であり、他にもヨーロッパのインフラ分野のBIM適用についての発表が予定されている。